17

生涯を通じた健康づくり推進プロジェクト

概要

高齢化が進む中においても、県民誰もが生涯を通じて、健やかに心豊かに生活できるよう、全てのライフステージを通じた健康づくり推進の取組を展開する

重点策

- 60 県民の主体的な健康づくりの推進
- 61 県民の健康づくりを支援する環境づくり

(1) 成果指標の状況

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★ (目標を達成)		
★★★★ (計画を上回る)		1	県立スポーツ施設の年間利用者数
★★★ (ほぼ計画どおり)		2	健康寿命、市町、職域等を含むがん検診受診率
★★ (計画を下回る)		1	山口県健康エキスパート薬剤師数
★ (計画から大幅に遅れ)		1	特定健康診査実施率

(2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらでもない	そう思わない
県民実感度調査 (%)	生活習慣病の予防など、健康づくりに向けた対策が進んでいると思いますか。	29.1	46.5	21.7

(3) 主な取組と成果

主な取組と成果

◆県民の主体的な健康づくりの推進

- 「やまぐち健幸アプリ」の運用により、健康づくりに関する個人の取組の「見える化」「日常化」を図るとともに、健幸アプリの普及による**個人の健康行動データ蓄積**に向けた**基盤を整備**。

やまぐち健幸アプリダウンロード数：**68,000件**（令和6.7月末）

- これまでの8020運動や、官民協働「健口スマイル」推進事業により、80歳で20本以上自分の歯を残す8020の達成者が増加。

8020の達成者：36.9%（平成27年度）→**55.4%**（令和4年度）

◆県民の健康づくりを支援する環境づくり

- 企業を通じた働く世代への健康増進の働きかけを促す「やまぐち健康経営企業認定制度」の取組拡大などにより、県民の**主体的な健康づくりを支援**

やまぐち健康経営登録企業数：1,282社、うち認定：776社(令和5年度末時点)

- 「やまぐち健康応援団」の登録事業所拡大により、県民の主体的な健康づくりを支援する仕組みを充実。

やまぐち健康応援団登録事業所数：**2,270事業所**（令和6.6月末）

- **健康エキスパート薬剤師**の登録を推進するとともに、健康エキスパート薬剤師による薬と健康相談キャンペーンの開催やオンライン健康サポートを実施。

薬と健康相談キャンペーン：県内スーパー3か所（7/30及び8/27開催、参加者**376名**）、海峡メッセ（10/29開催、参加者約**120名**）

オンライン健康サポート：5回開催（参加者17名）

(4) 総評

総
評

健康への意識の高まりや 県民の主体的な健康づくりがある程度進んできたが、三大生活習慣病の年齢調整死亡率は男女とも全国平均を上回っており、県民一人ひとりが意欲をもって健康づくりに取り組むことができる環境づくりを更に進めていく必要がある。

(5) 課題と今後の展開方向

課
題
と
今
後
の
展
開
方
向

◆県民の主体的な健康づくりの推進

- 平均寿命や健康寿命は国と同様に延伸しているものの、平均寿命は男女とも全国平均を下回っている。また、三大生活習慣病の年齢調整死亡率は、男女とも全国平均を上回っていることから、生活習慣の改善に一層取り組むため、県民一人ひとりが意欲を持って健康づくりに取り組めるよう、健康づくりの「見える化」・「日常化」を推進していく必要がある。
- 特定健診やがん検診の受診率は全国平均より低く、さらなる受診促進を図る必要があること、また、歯周病について歯科健診（検診）により早期から対策を取ることが重要であることから、市町や保険者、関係団体、企業との連携を強化し、受診機会等の拡充や受診勧奨の促進など、健康づくりに向けた健診（検診）を一層推進する必要がある。
- 8020 運動の推進により、80歳になっても自分の歯を20本以上保つ「8020 達成者」の割合は増加したが、高齢者の口腔機能の低下（オーラルフレイル）や小児の口腔機能発達不全等が問題となっていることから、ライフステージに応じた口腔機能の獲得・維持・向上に取り組む「健口スマイル運動」を県民運動として推進する必要がある。

◆県民の健康づくりを支援する環境づくり

- 県民誰もがそれぞれの年代等に応じた健康づくりを積極的に取り組める環境づくりを進めることが重要であるため、登録者が着実に増加している「やまぐち健幸アプリ」をはじめ、「やまぐち健康応援団」、「やまぐち健康経営企業認定制度」などを連携させて展開し、健康づくりを一層推進する必要がある。
- 健康エキスパート薬剤師の登録・啓発を進めつつ、県民自らの健康づくりがより効果的に進むよう、健診結果等を活用し、相談者に応じた健康サポートを実施するなど、薬学的な健康サポートの推進を図る必要がある。

(参考) 令和6年度の主な新規・拡充取組

新 健口スマイル運動・口腔保健推進事業

官民連携による普及啓発等の取組を進め、本県独自の県民運動である「健口スマイル」運動の推進により、生涯を通じた歯科口腔保健対策を展開するとともに、インクルーシブな歯科口腔保健の実現に向けた歯科保健医療サービス提供困難者への歯科口腔保健事業を実施。

新 女性と働く世代のがん検診キャンペーン推進事業

がん検診受診率の向上に向けて、女性をはじめとする県民への普及啓発キャンペーンを実施するとともに、職場でのがん検診の受診を促進。